

第1回湯河原町地域公共交通会議 会議録

平成29年3月10日

13時00分～

湯河原町役場 議会協議会室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 町長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 湯河原町地域公共交通会議設置要綱について
- 6 議題
 - (1) 会長、副会長、監事の選出
 - (2) 湯河原町地域公共交通会議に係る規程（案）について
 - (3) 平成28年度湯河原町地域公共交通会議予算（案）について
 - (4) 湯河原町交通不便地域解消の検討について
 - (5) 平成29年度湯河原町地域公共交通会議予算（案）について
- 7 その他
- 8 閉会

【協議事項の議事概要】

- (1) 会長、副会長、監事の選出

会長は、区長連絡協議会会長の河崎元秀氏。

副会長は、老人クラブ連合会会長の山口則光氏。

監事は、商工会総務部長の五味康隆氏、社会福祉協議会事務局長の前田牧子氏。

- (2) 交通会議に係る規程について

事務局より財務規程、事務局規程、謝金及び費用弁償に関する規程について説明。

—承認—

- (3) 平成28年度交通会議予算について

事務局より説明。

—承認—

- (4) 交通不便地域解消の検討について

(委員)

- ・交通不便地域の対応について、タクシー、バス会社などによる有償運送か無償運送にするのか想定はあるか。

(事務局)

→現段階では想定していない。平成 29 年度に地域公共交通網形成計画の策定を行う中で、交通不便地域の対応を併せて検討していく。

(委員)

→無償の場合は町が車両を用意し運行する形、有償の場合は、交通事業者の営業車両で運行する形になる。車両については、検討を進める中で運賃などを考慮し決定することになる。

(委員)

- ・違法な福祉輸送の業者を摘発したが、それだけ輸送のニーズがあると感じる。
- ・町内に交通事業者が多くいる中で無償運行を実施する必要はないのではないか。
- ・免許の自主返納の流れが進んでいることを踏まえ、交通不便地域に配慮した交通について早急に検討を進めていく必要がある。

(5) 平成 29 年度交通会議予算について
事務局より説明。

—承認—

【その他】

(委員)

- ・今後コミュニティバスの乗車人数などの運行に関するデータを示してほしい。

交通不便地域に新たな交通を導入することで、既存のバス路線の乗客が減少することも想定されるので、バランス感覚を持ち検討を進める必要がある。

(事務局)

→コミュニティバス導入時からさかのぼりデータを示せればと考えている。

(委員)

- ・運転手の人員確保が難しくなっている。また高齢化が進んでいる。

(事務局)

次回の会議は計画策定業務を委託するコンサル業者が決定後に、開催する予定。

(以上)